中学２年　国語科　教材別テスト⑤　「短歌に親しむ／短歌を味わう」

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　「短歌に親しむ」「短歌を味わう」（光村図書『国語２』）　／　漢字・語句・短歌の形式と修辞

２年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．４）までです。
- 大問四は、**教科書『国語２』（光村図書）の「短歌に親しむ」「短歌を味わう」のページを開いて**解答しなさい。
- 大問四は、教科書に収められている短歌の中から**自分で一首を選んで**答える問題です。どの一首を選んでもかまいません。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、**送りがなが必要な場合**（⑤⑩⑮⑲⑳）は、必ず送りがなまで書くこと。　１点×20＝20点

① 俳句を詠む。
② 叙景の歌。
③ 言葉の韻律。
④ 旋律が美しい。
⑤ 心が震える。
⑥ 繊細な感覚。
⑦ 郷愁にひたる。
⑧ 哀愁をおびる。
⑨ 言葉を吟味する。
⑩ 鮮やかな色。
⑪ きせつがめぐる。
⑫ げんかんに立つ。
⑬ えいえんをいのる。
⑭ しょうちょうする色。
⑮ 布をそめる。
⑯ すなはまを歩く。
⑰ なみだがあふれる。
⑱ こきょうに帰る。
⑲ 星がかがやく。
⑳ おさないころの記憶。

二　次の問いに答えなさい。

2点×7＝14点

(1)「叙景」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自分の気持ちをそのまま打ち明けること。　イ　風景のありさまを文章や歌に表すこと。

ウ　出来事を順序どおりに語ること。　エ　物の名前を数え上げること。

(2)「余韻」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　読み終わったあとまで残る、味わいや響き。　イ　書き残された部分。

ウ　声の大きさ。　エ　意味のわからない言葉。

(3)「郷愁」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　知らない土地にあこがれる気持ち。　イ　ふるさとをなつかしく思う気持ち。

ウ　人をうらやむ気持ち。　エ　旅に出たくなる気持ち。

(4)「胸を打つ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　強く心を動かされること。　イ　息が苦しくなること。

ウ　決意を固めること。　エ　腹を立てること。

(5)「震」の**部首名**を、ひらがなで書きなさい。

(6)「繊細」の**対義語**としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　粗雑　イ　微細　ウ　精密　エ　丁寧

(7)「読書」と**熟語の組み立て**が同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　山頂　イ　詠歌　ウ　高低　エ　岩石

三　次の(1)～(8)の説明にあてはまる言葉を、後の**語群**から一つずつ選んで書きなさい。語群の言葉は一度ずつしか使えず、使わない言葉もあります。　2点×8＝16点

(1) 短歌は、五・七・五・七・七の（　　）から成る。（　　）に入る、一首全体の音数。

(2) 短歌の前半、「五・七・五」の三句をまとめた呼び方。

(3) 短歌の後半、「七・七」の二句をまとめた呼び方。

(4) 短歌の第三句のこと。一首のまん中にあたるため、体の部分の名でもこう呼ばれる。

(5) 和歌で、特定の語の前に置いて調子を整える、五音の決まった言葉。「あをによし（奈良）」などがその例。

(6) ふつうの語順を入れかえて、感動や強調を表す表現技法。

(7) 文や句の終わりを、名詞で止める表現技法。

(8) 「ようだ」「ごとし」などの言葉を使わずに、あるものを別のものだと言い切ってたとえる表現技法。

〔語群〕 三十一音　／　三十二音　／　上の句　／　下の句　／　初句　／　結句　／　腰句切れ　／　字余り　／　字足らず　／　体言止め　／　倒置法　／　直喩　／　隠喩　／　擬人法　／　反復　／　対句　／　枕詞

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語２』（光村図書）の「短歌に親しむ」「短歌を味わう」のページを開き、そこに収められている短歌の中から**心にひかれた一首を自分で選んで**、後の問いに答えなさい。　50点

(1) あなたが選んだ短歌について、**作者名**と、**初句（第一句）のはじめの二字**だけを書きなさい。
＊著作権のため、歌の全文は書かなくてよい。はじめの二字だけで、どの歌かがわかるようにしなさい。 4点

(2) 選んだ短歌の音数を、初句から結句まで順に数えて「**五・七・五・七・七**」**のように漢数字で**書きなさい。また、**字余り・字足らず**があるかどうかを答え、ある場合は**何句目**かも書きなさい。 4点

(3) 選んだ短歌の**句切れ**は、どこにあるか。「初句切れ」「二句切れ」「三句切れ」「四句切れ」「句切れなし」のいずれかで答え、**そう判断した理由**も書きなさい。 6点

(4) 選んだ短歌に用いられている**表現技法を一つ**挙げ、それによって**どのような効果**が生まれているかを説明しなさい。 8点

(5) 選んだ短歌にえがかれている**情景**（いつ・どこで・何が見えるか）を、**二十五字以上四十字以内**で説明しなさい。 8点

(6) その短歌にこめられた**作者の心情（主題）**を、**二十五字以上四十字以内**で書きなさい。 10点

(7) あなたが**この一首を選んだ理由**と、読んで感じたこと・考えたことを、**六十字以上八十字以内**で書きなさい。歌の中の言葉（短い語句でよい）を手がかりにして書くこと。 10点

※　短歌の全文を書き写す必要はありません。（４）（７）で歌の言葉にふれるときは、**十字程度までの短い語句**を「　」に入れて示しなさい。

解答用紙①　知識・技能

中学２年　国語科　教材別テスト⑤「短歌に親しむ／短歌を味わう」

２年	組	番	氏名

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二　語句の知識 （２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　短歌の形式 と 修辞の用語 （２点×８）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

※　一の⑤⑩⑮⑲⑳は、送りがなまで書くこと。三は語群の言葉をそのまま正しく書き写すこと。

解答用紙②　思考・判断・表現

中学２年　国語科　教材別テスト⑤「短歌に親しむ／短歌を味わう」

２年　　組　　番　　氏名

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四(1)　選んだ短歌（４点）	作者名	
	初句のはじめの二字	
四(2)　音数と字余り・字足らず（４点）	音数	
	字余り・字足らず	
四(3)　句切れ（６点）	句切れ	
	理由	
四(4)　表現技法とその効果（８点）	技法名	
	効果	

解答用紙②（つづき）　思考・判断・表現

中学２年　国語科　教材別テスト⑤「短歌に親しむ／短歌を味わう」

２年	組	番	氏名

四(5)　情景（25〜40字・8点）	
四(6)　作者の心情・主題（25〜40字・10点）	
四(7)　選んだ理由と感想（60〜80字・10点）	

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（５）（６）は25〜40字、（７）は60〜80字です。短歌の全文は書き写さず、ふれるときは十字程度までの短い語句を「　」で示しなさい。